

比較現代日本論研究演習 II

「多変量解析の基礎」

カードをとって
適当なところに着席

電源はまだ入れない

2001.10.10

比較現代日本論研究演習 II

多変量解析の基礎

東北大学大学院文学研究科 2001 年度
田中 重人 (講師)

【目的】

因子分析・回帰分析の習得

- 多数の変数に共通する要因
＝因子分析
- 因果関係のモデル化
＝回帰分析

【教科書】

大野高裕、1998 『多変量解析入門』 同友館。

生協（文系書籍部）に入荷済

【授業の形式】

- ★ 講義＋実習
- ★ 論文講読(2回)
- ★ 期末レポート

(授業予定は次のページ)

【授業の予定】

イントロダクション (10/10)

SPSS 入門、データ配布 (10/17)

1 変量の分布 (10/24)

2 変量の関連 (10/31)

因子分析 (11/7～11/28)

回帰分析と応用 (12/5～1/19)

【実習室について】

- ★ 入室には学生証が必要。
- ★ 土足・飲食・喫煙厳禁。
- ★ 退出時に必要事項を紙に記入。
(書けるところを書いてみよう)

★ コンピュータの起動と終了
(ディスプレイの電源を落とす
のを忘れないこと)

★ ファイルの保存場所について

授業でつかうファイルは、授業開始時に My Document フォルダにコピーして使う。授業終了時に削除する。

内蔵 Disk に個人データをおいてはいけない

★ フロッピーを各自購入

「DOS フォーマット」(3.5 インチ)のものが便利。

【この授業で使用するデータ】

1995年SSM調査の一部

cf. 『日本の階層システム』（全6巻）
東京大学出版会、2000年。

【SPSS の起動】

- ★ 「スタート」 → 「プログラム」
→ 「SPSS for Windows 10.0J」
- ★ 「データに入力」 をチェック
- ★ 「データエディタ」 が開くことを確認

【変数の定義】

- ★ 「変数ビュー」タブに切り替え
- ★ 変数名を必要なだけつくる
- ★ 「データ ビュー」タブに切り替え
- ★ データを入力

適当な名前で作成していったん終了。

→ ○○○○.sav というファイルができる